※令和５年度以降入学生用

学校番号	412

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	語彙力をつける入試漢字 2600（桐原書店）思考の論理スイッチ１（浜島書店）プレミアムカラー 国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各文章を正しく読み取り、それぞれのテーマについて主体的に考え、自分から表現する力をつけるように心がけましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

○　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

○　論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使っている。	目的や意図に応じて、必要な情報を相互に関連付けながら理解を深め、考えを表現したり、批評したりする。	必要な情報を相互に関連付けながら文章等を解釈し、そこから適切な考えを形成しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和５年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「読む」ことと「書く」ことのつながりにについて考える。 ［教材］ 「書けない日々」 「コミュニケーション能力とは何か」	a：言語表現の工夫（用語、文末表現、話題の展開方法）などに注意し、理解を深めている。 b[話／聞]：自分の考えを明確に根拠とともに示せているか、また他者の反応を正しく受け止めた上で、説明を補足するなど、発表や対話の基本を身につけようとしている。 c：読むことから書くことへのつながりについ各自で問題点を発見し、具体的な例とともにわかりやすく表現・発表しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	比較を用いた視点・論じ方を理解し、文化について考える。 ［教材］水の東西	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、対比を用いた論じ方をグループで行ってみる。根拠の示し方や説明の仕方を考え、説得性のある論じ方で発表しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
2学期	現代社会を分析する視点を学び、自らの考えを深める。 ［教材］「わらしべ長者の経済学」	a：段落の役割、段落相互の関連について理解し、全体構成を理解する。 社会科学の基本的な知識を持つ。 b[読]段落ごとに：内容を正しく要約し、段落相互の構成に注意して、全体の要約につなげる、社会問題について自分の考えを深めている。 c　文章の中で、疑問を抱いたり、理解しづらいところをメモしながら主体的に読解しているか、またそれについて発展的に自ら調べているか、さらに理解を深めるにはどのような方法があるかを考える。それによって各自の考えを深め、批評しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	言葉への関心を深める ［教材］「ものとことば」	a：言語一般、特に日本語に関しての基本要素を知る。さらに外国語との比較の上、本後の特徴を知る。 b[書]：適切な例を用いながら説明する論じ方を学び、素材を集め、分析し、そこから一般化を試みるという過程を理解する。 c：各自で資料を調べ、そこから一般論を導くという形で説明文をまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	自然科学、特に環境問題を論じる視点と適切な資料の活用について学ぶ ［教材］「動物園というメディア」	a：主張と論拠となる情報を整理し、文章との関連を理解できる。 b[読]説得力のある論を展開するにはどのような資料が必要か、どう活用するかを考える。 c：・適切な資料を用いて自分の主張の根拠とし、わかりやすく一貫した論理で、意見文を書くことによって、進んで自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和５年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3学期	哲学的文章を読み、抽象的な概念を具体的に理解し、自らの体験と結びつけてみる ［教材］ 「時間と自由の関係について」	a：各文章の論点を整理し、違いを理解できる。表現をきめ細かく読み取り、微妙なニュアンスを正しく把握する。 b　人間の基本的なありようについて考えを深める。過去から現在までを「ふりかえる」とは、また「未来」を考えるとはどのような意味を持つのかを考える。抽象的な概念について考える際に、具体の裏付けが伴うようにしわかりやすく他者に伝わるか工夫する。 c：体験から抽象へという構成を用いてまとまりのある文章を書き自分の考えを深めている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	自己と他者のかかわり、また身体と精神のかかわりを考える。 ［教材］「他者を理解するということ」	a：今までに学んだ文章を応用し、疑問点を論じる際に適切な文章構成を検討する。自分の考えを正しく伝える言葉を選択できるよう、語彙、表現法を増やす。 b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：やや複雑な論理展開についても、メモや図解などの方法を用いて流れを把握する工夫をする、筆者の問題意識に沿って、自分の問題意識を深め、論じようとしている。その際、表現法に工夫をしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	表現の工夫について整理する ［教材］「考えを表す」の各文章素材 「デジタルメディア時代の複製」「動的平衡の回復」「事実なのか考えなのか」等。	a：問題的、対比、賛否の立場の表明、根拠と主張、具体例の上げかた、比喩、例示、言い換えなどの修辞や、理解し使っている。 b[読]文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。： c：「発表」に際して利用するものを工夫する。また話し方を工夫する。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間